

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会 (平成28年度第2回)議事概要

1. 日 時 平成28年5月31日(火) 10:00~11:15

2. 場 所 九段第3合同庁舎 11階共用会議室1

3. 出席者

[委員長]

石田 東生 (筑波大学 システム情報系社会工学域 教授)

[委員]

石渡 恒夫 (社団法人 神奈川経済同友会代表幹事)

桑野 玲子 (東京大学 生産技術研究所
都市基盤安全工学国際研究センター 教授)

小濱 哲 (横浜商科大学 貿易・観光学科 教授)

二村 真理子 (東京女子大学 現代教養学部国際社会学科 教授)

牧野 昌子 (特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)

味水 佑毅 ((元)高崎経済大学 地域政策学部観光政策学科 准教授)

[関東地方整備局]

道路部長 村山 一弥

道路企画官 鈴木 通仁

宇都宮国道事務所長 早野 英人

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

・ 一般国道4号栃木県矢板市~那須塩原市間の計画段階評価(第3回)について

<委員からの主な意見等>

・ 対応方針(案)について了承。

・ バイパス案は、交通転換により地域の交通と通過交通の差別化が図られることで、道路利用者の満足度も向上することを比較表で説明してはどうか。

・ 現地調査において歩道の狭い地区を実際に歩いたが、非常に怖い思いをした。一刻も早い整備が必要であると切に思う。

・ 住民、事業者ともに「家屋が連なる地域に生活する人々が安全に現国道4号を利用できる」の項目を重視している。道路を利用する事業者が住民に対し気を遣っていることの表れであり、地域で生活する住民

と認識が一致していることを資料に盛り込めないか。

- ・ 対応方針（原案）は必要性や理由など詳しく書かれているが、対応方針（案）は記載が簡略化されて分かりづらいため、表現を工夫して欲しい。併せて、自由意見が多かった早期着工への配慮を盛り込んでどうか。

以 上